
地域の活性化と
皆さまの暮らしの
お役に立つために

～ 地域と共に、お客さまと共に ～

地域密着型金融推進計画
(平成17年～18年度)



池田銀行

目次

- 「地域密着型金融推進計画」策定にあたって 3
- 当行のプロフィール 4
- 当行の沿革・経営理念 5
- 当行の目指すもの 6
- これまでの取組み 7
- リーゾンシップバンク機能強化計画（平成15～16年度）における具体的な取組み 8
- 地域密着型金融推進計画 の概要 9
- 本計画策定にあたっての「キーワード」 1 0
- 具体的な取組み目標 1 1
- 「1．事業再生・中小企業金融の円滑化」に向けた取組み 1 2
- 「2．経営力の強化」に向けた取組み 1 3
- 「3．地域のお客さまの利便性向上」に向けた取組み 1 4



「地域密着型金融推進計画」策定にあたって

- 当行は、創業のこころ“親切で新しい”を大切にしながら、“地域貢献”や“社会貢献”に努め、「地域社会との共生」を目指してまいりました。
- 平成15～16年度の「リレーションシップバンキング機能強化計画」におきましても、ビジネスマッチング活動、創業・新事業支援、企業再生支援、お客さまの利便性向上等、様々な地域社会の活性化策に取り組んでまいりました。
- 今般、これまでの取組みを継続し、発展させるために、平成17～18年度の「**地域密着型金融推進計画**」を策定いたしました。
- この計画のキーワードは、「安心、先進、そして前進」であります。
- 役職員一同総力をあげて取り組んでまいりたいと存じます。

当行のプロフィール

本店	: 大阪府池田市
設立	: 1951年9月
総資産	: 2兆5,300億円
預金	: 1兆9,300億円
貸出金	: 1兆3,600億円
資本金	: 356億円
格付	: A (日本格付研究所)
上場市場	: 東証1部・大証1部
代表者	: 頭取 服部盛隆
従業員数	: 1277名
事業所	: 店舗数72ヶ所

(2005年3月末日現在)



大阪府下43(うち大阪市内10)、兵庫県下27(うち神戸市内2)
京都市内1、東京都内1

当行の沿革・経営理念

沿革・歩み

- 1951年 開業 清瀧幸次郎 頭取就任
- 1972年 東京・大阪証券取引所第1部に上場
- 2000年 ステーションATM「PatSat」事業開始
堂島営業部、大阪西支店開設
第1回ビジネスマッチングフェア開催
- 2001年 服部盛隆 頭取就任
プライベートバンキングプラザの開設
- 2002年 生命保険窓販解禁・個人年金保険の取扱開始
摂津支店開設
- 2003年 ハイブリッド型ICキャッシュカード
使用実験開始
<池銀>ニュービジネス助成金など
“地域起こし”支援制度創設
塚口支店、逆瀬川支店開設
- 2004年 <池銀>コンソーシアム研究開発助成金を創設
千里丘支店開設
野村證券と提携、「証券仲介業務」を開始
- 2005年 次世代共同利用型システムへ移行
ICキャッシュカード プラスイカ 取扱開始
大阪梅田池銀ビル着工

経営理念

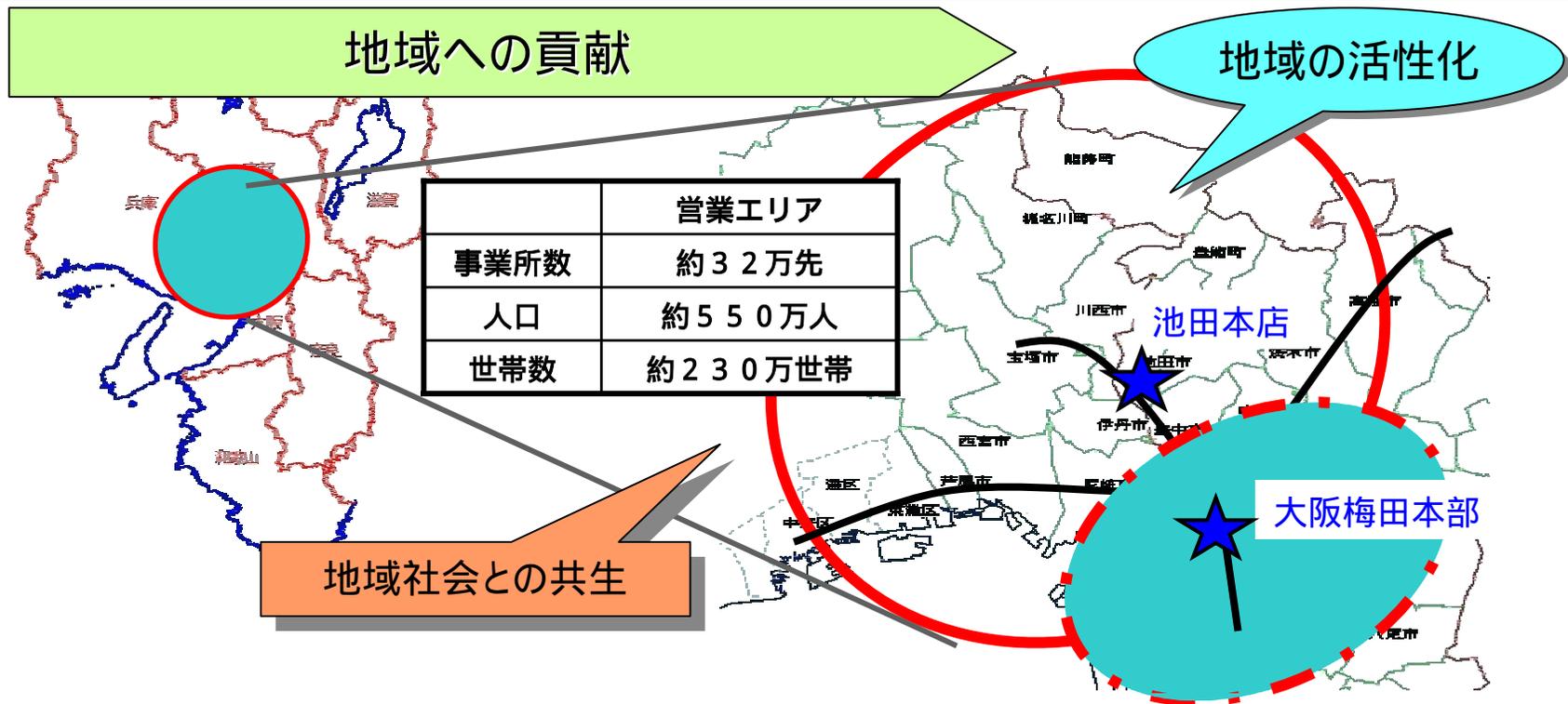
“親切で新しい”の初心を忘れず、
“奉仕と誠意”の鏡にてらしながら、
“コミュニケーションとバランス”を大切に、
活力ある銀行を目指します。

経営方針

さまざまな“マッチング”をとおして、
皆様のお役に立ちます。
時の流れに対応しつつ、
“サウンド・バンキング”を堅持します。
人間性豊かな人材の育成に努め、
“愛される銀行”を目指します。



当行の目指すもの



～ 地域と共に、お客さまと共に ～

“安心”

お客さまに「安心される銀行」

“先進”

お客さまに「親切で新しい銀行」

“前進”

「阪神間のリーディングバンク」へ



池田銀行

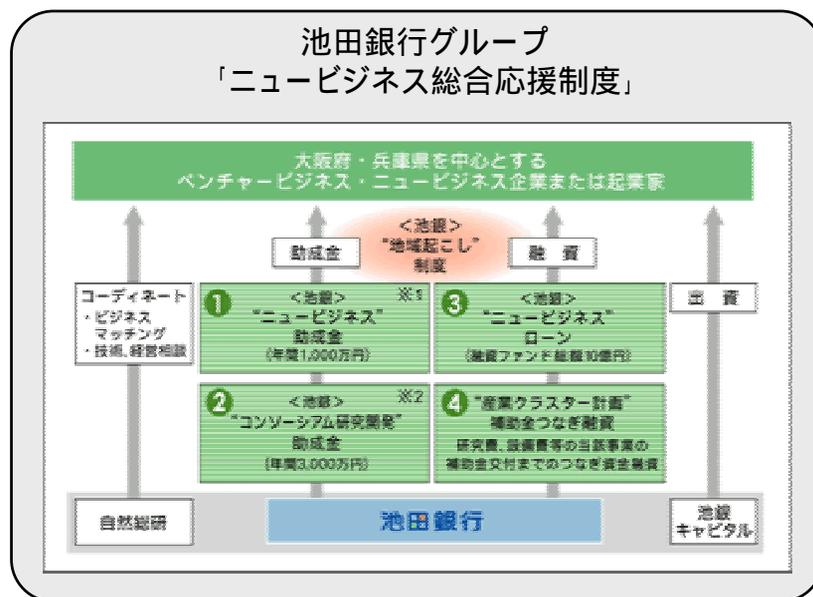
これまでの取組み

地元関西経済は、「本社は東京へ」「工場は海外へ」といった二重の空洞化問題を構造的に抱え、中小企業にとっては引き続き“仕事の確保”が重要課題であります。

地域を活性化していくには、仕事の創造、新規事業の創出による雇用の創造が不可欠であり、起業家および企業を応援する仕組み作りが何よりも大切になっております。

当行では、平成15年4月、ニュービジネス事業の応援・育成等を目的とした「<池銀>“地域起こし”制度」を創設し、新規性や独創性の高い技術並びにビジネスプランを有する企業や起業家の応援に取り組んでまいりました。

また、地元大学、政府系金融機関、三菱商事株式会社等、外部機関とのネットワーク構築や、ビジネスマッチング活動に積極的に取り組み、数多くの“新たなビジネス”や“新たなパートナーとの出会いの場”を提供するとともに、地域の中小企業金融の強化・円滑化に努めてまいりました。



リレーションシップバンキング機能強化計画(平成15～16年度) における具体的な取組み

●地域起こし応援制度の推進

- ニュービジネス助成金制度と
その応募先への出資・融資
 - 2年間で304プランものご応募を頂き、40プランに24百万円の助成金を支給いたしました。
 - 助成金応募先を中心に「<池銀>“ニュービジネス”ローン」や「“産業クラスター計画”補助金つなぎ融資」等、24件570百万円の無担保融資を実行いたしました。
 - 当行関連会社池銀キャピタルを通じ、ニュービジネス企業への26件501百万円の出資を行いました。
 - 平成16年下期、創業期の企業の応援、育成を目的に民間版“中小企業投資育成型ファンド”「池銀キャピタル 夢仕込みファンド」を設立いたしました。
- コンソーシアム研究開発助成金制度
 - 平成16年下期に第1回目の募集を実施し、64プランのご応募を頂き、18プランを採択、合計で30百万円の助成金を支給いたしました。

●ビジネスマッチング活動への取組み

- ビジネスマッチングフェア・ビジネス交流会開催
- 「ベンチャーKANSAI」への協賛

●外部ネットワークの構築

- 日本政策投資銀行との業務協力協定
 - 平成16年1月、日本政策投資銀行と業務協力協定を締結。同行との連携により、本邦初の新株予約権付協調融資を16年度下期に実施いたしました。
- 大学との連携等
 - 平成15年4月に大阪大学「阪大イノベーションファンド」、平成16年1月に大阪中小企業投資育成株式会社「近畿産学連携ファンド」へ出資。平成16年12月、関西学院大学と提携し投融資制度を創設いたしました。
- 三菱商事株式会社との業務協力協定
 - 平成16年1月、三菱商事株式会社との間で業務協力協定を締結。同社グループ機能の有効利用、双方取引先企業間での共同開発事例などの成果を得られつつあります。

●地域起こし応援体制の強化

- ニュービジネスサポート室の新設
- 企業コンサルティンググループによる企業再生の強化